

# EU Indicators

発表日: 2022年4月1日(金)

## 欧州経済指標コメント: 3月ユーロ圏消費者物価

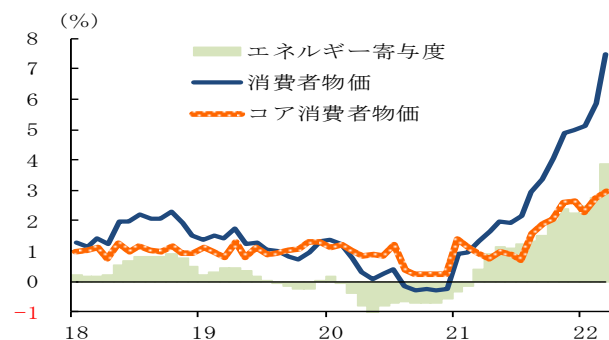
～エイプリル・フルでもびっくりのインフレ加速～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

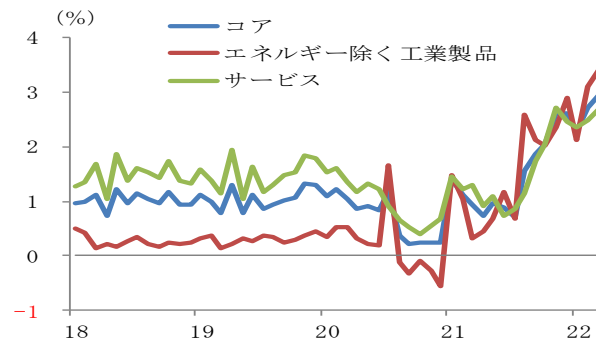
- 3月のユーロ圏の消費者物価の速報値は前年比+7.5%と、前月の同+5.9%から上昇率が大幅に加速し、統計開始以来の過去最高を再び更新した。速報段階で入手可能な内訳は、コア物価（変動の大きい食料・アルコール飲料・たばこ・エネルギーを除く）が前月：同+2.7%→今月：同+3.0%に上昇率が加速。ウクライナ情勢緊迫化による原油・資源価格の高騰を反映し、エネルギー価格が同+32.0%→同+44.7%、資源・肥料価格の上昇を背景に食料・アルコール・たばこ価格が同+4.2%→同+5.0%と何れも上昇率が加速した。
- 速報段階で入手可能なコア物価の内訳は、エネルギーを除く工業製品価格が同+3.1%→同+3.4%に、サービス価格が同+2.5%→同+2.7%とともに加速した。前者は前年同月の反動で高めの伸びとなった面もあるが、徐々に価格上昇圧力が広がっている。最近妥結したドイツの空港保安スタッフの賃金交渉は大幅な賃上げ。秋から冬にかけて本格化する賃金交渉も高めの賃上げ妥結となる可能性がある。今後は資源高に加えて、賃上げも物価の押し上げ要因となりそうだ。
- ブレント原油先物価格は3月8日に約130\$/bでピークを記録した後、100~120\$/bで一進一退の推移を続けている。消費者物価のエネルギー価格が3月と同じ水準が続いた場合、向こう半年程度は前年比で3%ポイント以上の押し上げが続く計算となる（3月は同+3.8%ポイント）。当面は物価の高止まりが避けられない。

■ユーロ圏: 消費者物価 (前年比)



注: コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く  
出所: Eurostat

■ユーロ圏: コア消費者物価 (前年比)



注: コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く  
出所: Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価 (%)

	2021			2022			2022											
	2Q	3Q	4Q	1Q	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
消費者物価 (前期比)	0.6	1.2	1.6	—	0.2	0.3	0.6	0.3	0.2	0.7	0.7	0.3	1.1	0.8	—			
消費者物価 (前年比)	1.8	2.8	4.6	6.2	2.0	1.9	2.2	3.0	3.4	4.1	4.9	5.0	5.1	5.9	7.5			
コア消費者物価 (前期比)	0.9	1.4	2.4	2.7	1.0	0.9	0.7	1.6	1.9	2.0	2.6	2.6	2.3	2.7	3.0			
食料/アルコール/たばこ (前期比)	0.6	1.9	2.5	4.2	0.5	0.5	1.6	2.0	2.0	1.9	2.2	3.2	3.5	4.2	5.0			
食料 (前期比)	0.1	1.7	2.5	—	0.1	0.2	1.4	1.9	1.9	1.8	2.2	3.5	3.9	4.7	—			
アルコール (前期比)	0.3	1.3	1.4	—	0.2	0.2	1.2	1.3	1.3	1.4	1.2	1.6	1.4	1.3	—			
たばこ (前期比)	3.8	3.0	2.8	—	3.8	3.1	3.0	3.0	3.1	3.3	2.6	2.6	2.9	2.9	—			
エネルギー (前期比)	12.0	15.8	25.7	35.3	13.1	12.6	14.3	15.4	17.6	23.7	27.5	25.9	28.8	32.0	44.7			

注: 消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所: Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

